

えくてびあん

11

立川と語ろう 立川に生きよう

NOVEMBER 1999 EKUTEBIAN Vol.18 No.189

表紙の人／久田雅夫（栄町） 撮影／細江英公

ずんぐりごま

作って戦う、元祖「対戦型ゲーム」

ずんぐりしているから「ずんぐりごま」。かつて立川の男の子たちは、ナタ1本で丸太を削り、自分だけのコマを作って対戦に興じた。握った時に感じる木の温もりとズシリとした重量感。これがゴツゴツと音を立ててぶつかり合うのだから、そのスリルたるや中々のもの。「木はエゴ、サクラ、ケヤキなどどんなものでもOK。削るときはナタと木の角度に注意すること。慣れれば30分で出来上がります」（小川さん）。コンピューターゲームに勤しむ現代の子供たちも、一度作ってみれば、きっとハマること請け合い。



今月の先生
小川喜良さん（錦町）



1

鉈で丸太の先端を削る。角度は丸太の寝かせ方で調節、鉈は常に垂直に振り下ろすようにする。



2

先端にひもを引っかけるくびれを作る。最初に刃で溝をつけ、丸太を回しながら少しずつ削り出す。



3

大まかな形を整えたら、のこぎりで切断。後でバランス調整をするので、少々大きめに切り出す。



4

何度か試し回しを行いながら、余分な部分を少しずつ削ってバランス調整。皮も削り、形を整える。



5

ひも作り。使い古した手拭いを5cm幅に2本裂き、手の平でコヨリを作る要領でよっていく。



6

ひもの先端は「はたき」のような状態に。回転するコマに加速をつけるため、実際に「はたく」部分。



敵は悪天候。でもあきらめず のには、決断が必要でした。

立川市水泳協会所属 大河内二三子さん

啓介 もう三十年も前の話なんです、僕は一時パリに住んでたことがあるんです。ある時、一度イギリスまで行ってみようかって話になってね、ドーバーをフェリーで渡ったんですよ。その時に「この海峡を泳いで渡る人たちがいる」って聞いて、世の中には凄いなことをやる人があるなあって。

大河内 やっぱ伝統があるんですね。世界中のスイマーにとって憧れですから。



■大河内二三子（おおこうちみさこ） 英国本土からヨーロッパ大陸を渡るドーバー海峡。夏でも水温が15度という涼しい海を泳いで渡ろうと、この夏6人の女性が日本を旅立った。全員選手経験なし、成人してから泳ぎを始めた平均年齢53才の「普通のおばさんたち」。高松町「高松書店」の奥様、大河内二三子さん（45）はチームのリーダーだ。30才を過ぎて水泳を始め、現在は日本泳法で師範資格を取得するほどの腕前。6年前にもドーバーを泳いだ大河内さん、今回は「往復」横断に挑戦した。

■立井啓介（たていけいすけ） えくてびあん編集人



同じような試みが世界中のいろんな海峽で行われているんですが、ドーバーが一番困難だと云われているんですよ。気候的にも厳しくて、成功率が一番低いんです。啓介 大河内さんは、もともと泳ぎは得意だったんですか。

大河内 本格的に始めたのは、実は子供の手の離れてからなんです。今でこそ水泳協会で指導してんですけど、もともとは全くの素人。選手経験なんて全然ありません。

啓介 でも海も大潮になってしまいうし、監督だって、そう簡単に許してくるはずがない。

大河内 ちょっと夏休みの終わりで、飛行機の切符も手に入りづらい時期ですしね。最初は泳いでたんですけど、最終的に「チケットが買えるかどうかも実力の内。ダメなら明日帰るから」って。それで二十四日の朝、ありったけのお金をかき集めて、ロンドンまで行って、なんとか切符を手に入れたんです。そしてその夜、ちょうどロンドンから帰ってきた時に電話があった。「今夜行くぞ」と。

啓介 いやいよいよ決行となったわけですか。

大河内 ええ、無事に向こう（フランス）まではついたので。でも十九時時間目あたりで天気がおかしくなってきました。啓介 ちょっと潮も大潮に変わってきてる頃ですよ。

大河内 ええ、ちょうど私の後にバトンタッチしたメンバーが泳いでたんですけど、全然進まなくなっちゃったんです。泳者は一時間で交代するルールなんです。私が泳いでいる時は遠くの方に灯りが見えていて「あ、あれがドーバーだ。ゴールだ」って思ってたんですけど。

啓介 「翼よ、あれがパリの灯だ」ってのがありましたけれど。

大河内 そうそう、そんな感じですよ（笑）。それが次のメンバーの頃には、全く見えなくなっちゃった。潮に流されてしまってるんです。さすがにこれ以上は危険ということで、断念せざるを得ない状況になってしまったんです。

啓介 そうだったんですか。天気と潮が相手じゃしょうがないですよ。

大河内 そうなんです。でも誰もやめようとは云えないんですよ。本来ならリーダーの私が云うべきなんです。なかなか云い出せない。やっぱ決断するときは勇気が要りましたね。

啓介 でも大河内さん、確かに残念だったかもしれないけれど、やっぱり決断するときは、仲間と皆で固結して。

大河内 やっぱメンバー全員が普通のおばさんだということにこだわりましたから。その普通のおばさんが、それぞれ役割を分担して、交渉から何から全部自分たちで頑張るといって、その過程がとて



て電話するんですが、答えはいつも「ノックド！」。そうこうしているうちに日はほとんど過ぎてしまっ。

啓介 先ほど、片道は十四時間かかるとおっしゃってましたが、往復するとなると丸一日以上必要になるわけですね。

大河内 片道だけだったら、半日天気が悪くても何とかなるんですけどね。私たちが八月二十五日夕方の帰国便を取ったので、二十三日の夜が最終リミットなんです。でも、とうとうその日になってしまっ。

啓介 こっちは準備万端、やる気充分なのにねえ。

大河内 だって「泳がずに帰る」なんて出来ないですよ。こっちは一年以上、冬の海で厳しい練習を続けてきたわけですから。それでメンバー全員で話し合っ、監督（川上日出典氏）に直訴したんです。

も嬉しいんです。今回のメンバーの最高齢は六十五才なんです。

啓介 え、六十五才？ うわあ、信じられない。

大河内 平均年齢五十三才ですから（笑）。啓介 思うんですが、これはきつと「おばさん」だったから良かったんです。これが「おじさん」だと、そうはいかない。きつと僕だったら、天気が悪くて時間もないとなったら、さっさとあきらめて帰っちゃいますよ。

大河内 滞在を延ばすために直訴した時も、最初に云われたんですよ。「失敗して帰った」というより「泳ぐことができなくて帰った」という方がいいだろうって。確かにそうかもしれないけれど、私たち、無理矢理押し通しちゃって（笑）。啓介 どうですか、またチャレンジする気持ちはありますか。

大河内 今度は、みんなが選歴になったら挑戦しようって云ってるんですよ。啓介 選歴でドーバー横断ですか。いいですねえ。

大河内 おばさんはあきらめませんからね（笑）。

曙町	喫茶エミリーフローグ 立川高島屋店	高松町2-39-3-3F	526-9788
	立川高島屋 ギフトサロン	高松町2-39-3-7F	525-2111
	多摩画材 (景品交換所)	高松町2-1-25	522-6031
	丸助青果店	高松町2-4-18	522-3542
	スーパーやなぎや	高松町2-5-17	522-4322
	肉の専門店 伊勢屋	高松町2-5-20	524-2734
	ケーキ&カフェ マリアン	高松町2-10-22	524-3912
	米穀・食料品 横町屋	高松町2-11-23	522-2609
	山梨中央銀行立川支店	高松町2-16-13	526-1571
	レストラン 櫻	高松町2-22-2	526-2276
	cafe-restaurant & bar TIP-TOP	高松町2-27-27	525-2030
	フレンド書房	高松町3-18-2	527-1555
	HAIR MAKES たしる	高松町3-26-16	525-2175
	ふとんの青木寝商	若葉町1-8-1	536-6833
	美容室 リラ	若葉町1-11-1	536-3048
	みふじサイクル	若葉町1-12-4	536-7166
	紀の国屋 立川支店	若葉町1-13-2	536-1604
	いなげや 立川若葉町店	若葉町3-21-1	537-4119
	パティスリーブルミエール	西砂町1-36-11	531-4835
	ぎやらりー 蘭	西砂町5-6-2	531-2392

えくてびあんの輪

人があて、街があります。
あなたがあて、立川があります。
そこにちょっとだけ、えくてびあん！
リストのお店にいつでも、えくてびあん！

今月は高松町・高松町・若葉町・西砂町・栄町・幸町・錦町の店舗です。		
多摩中央信用金庫 栄町支店	栄町2-59-6	536-9711
手打ちそば 信更	幸町5-12-1	537-0991
相模屋 酒店	幸町5-61-8	536-2476
メンズカット ヤザワ	幸町5-61-31	536-8738
森田接骨院	幸町6-6-25	535-6240
いなげや 立川幸町店	幸町1-23-6	537-1820
お菓子処 花奴 すすかけ通り店	幸町3-17-3	536-8785
ティールーム プチ・フルール	幸町4-16-1	535-6734
ロッテリア 立川砂川丸番店	幸町4-38	537-4413
とんかつ・割烹 かつ亭	幸町4-59-3	535-4611
和洋菓子 たちばな	幸町5-2-16	537-0347
BSタイヤショップ 佐藤商会	幸町5-10-2	537-0912
coffee shop 遊香	錦町1-4-24	527-3840
ステーキレストラン リブレ	錦町1-8-3	527-1630
和菓子処 ゆうき	錦町1-8-5	525-0780
美容室 アリス	錦町1-15-21	525-1100
パンと洋菓子 うちのやブルマン	錦町1-18-7	524-9280
装束・ファンシー むぎばたけ	錦町2-1-1	526-0210
美容室 FALCO	錦町2-1-10	526-2389
諸官公庁御用通・日用雑貨 池田屋	錦町2-1-10	522-3731

天然を刻む鮮やかな技法

遠藤須磨江さんの「切り絵ワールド」

遠藤須磨江さん（若葉町1丁目）の得意技は切り絵。和紙や色紙はもちろんのこと、家の壁紙からお菓子の包装紙まで、遠藤さんはどんな紙でも、豊かな情景の一部にしてしまう。ラフ・スケッチを土台にして画面の構成を決め、線を描き、陰影を出し、さらに紙の色と質感で表情をつける。用いる道具はカッター1本。気の遠くなるような作業だが、それでも「まだまだ描きたいテーマがたくさんある」と語る。御歳79歳。切り絵と出会ったのは、62歳の時だったという。



龍船（長崎諏訪神社祭） 1993年
62cm×42cm



潮波み（中国） 1995年
44cm×58.5cm



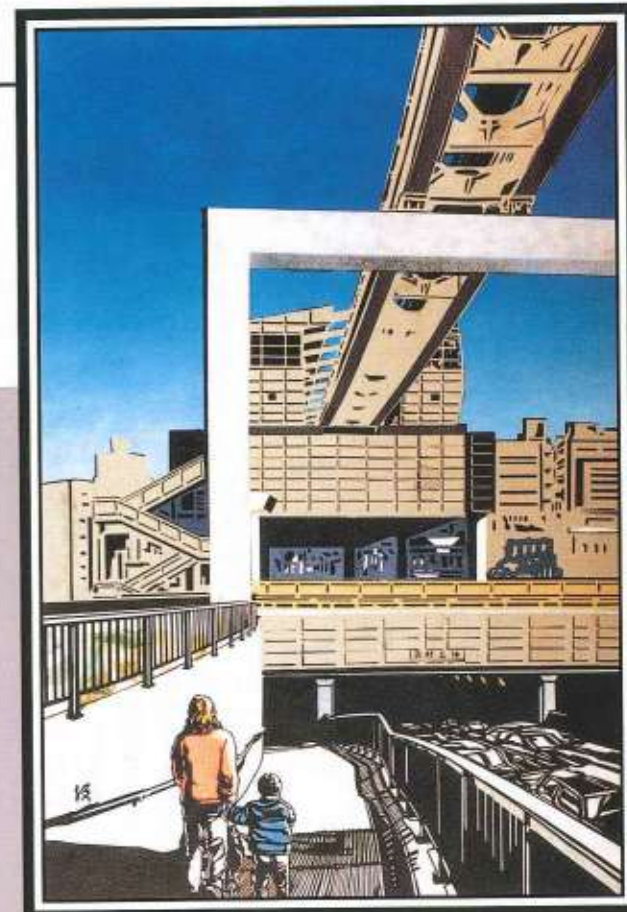
ざくろ 1992年
60cm×42cm



渦（Ⅰ） 1992年
36cm×50.5cm



渦（Ⅱ） 1992年
36.3cm×51.5cm



高橋立体 1999年
72.5cm×48cm



はなみずき 1985年
27cm×24cm



●プロフィール

大正9年、山梨県生まれ。昭和16年から小学校教諭として教壇に立ち、昭和56年、立川市立第三小学校・特認校長職を似て退職。翌57年、砂川公民館主催の講習会で切り絵と出会い、その後「立川きりえ友の会」を発足。同会会長として現在も活躍中。今年9月、初の作品集『きり絵に魅せられて』（けやき出版）を上梓。

(栄町)

1967年、北欧を中心にヒッチハイク旅行に出掛け、それまでの諸々の職業を一切辞め、動物写真一本の道に入る。

フォトライブラリー「野生王国」を1980年に設立、現在に至っている。特に東京の動物撮影については第一人者として知られ、奥多摩での執拗な追跡写真集「狼の森日記」(原生林)を著す。それ以前にも「東京に生きる野生動物たち」(らくだ出版)がある。近著ではアラスカ期の生態を追った「グリーズリー」(毎日新聞社)がある。WWF J会員。

(於・川越緑地/撮影・細江英公)

東風

こ、ろざしというものは恐ろしい働きをするものだ。あのドーバー海峡を泳いで渡ろうと志を立てて、ついに達成してしまった女性、大河内二子さんら。今年は海峡の「往復」を志したが、悪天候に見舞われてついに帰路を断念してしまったというが、無念は無念として、その壮を大と見たい◆若い日にパリからロンドンまで、バタバタ旅行を決心したことがある。バタバタというのは自転車に小さなエンジンが付いたもので、自分でも漕げるし、エンジンを掛ければ30キロくらいのスピードが出るという、今日でいう「超」軽量な乗り物である。ドーバーに差し掛かったとき、さすがに「泳いで渡る」という発想は湧かなかった。当然のようにフェリーに乗ったのだが「青年」としては志が小さすぎた◆山旅という言葉があるが「海旅」という表現も出来るのではないだろうか。山頭火の「分け入つても分け入つても青い山」をもじって云えば「分け入つても分け入つても青い海」という心境だったのではないだろうか◆ドーバー海峡をリレーで渡ることは一種の競技と観ることもできるだろうが、「旅」としてとらえれば、失敗も成功もない人間の内面の問題に陥るよう思う◆えくてびあんこ、ろざさなくも 秋深し

【第二次えくてびあん同人】
編集 新井紀美子/大久保清志/小林康史
/空宮 空/山田五郎
デザイン 池田隆男/AMNET DF
写真 真 中村 伸/五来孝平

えくてびあん 11月号

第18巻 通巻184号
平成11年11月1日発行
発行 えくてびあん編集工房
〒190-0012
東京都立川市曙町2-17-5 杉田ビル3F
TEL. 042-528-0082 FAX. 042-528-0065
編集人 立井啓介
発行人 名尾啓真
印刷 (株)大廣社

第7回えくてびあん杯争奪 立川ベーゴマ選手権



三上丈夫選手
[三上饅節店] 店主

第7回戦D組

長島勇二選手
中華料理「五十番」シェフ



伏兵・長島選手、三上選手を倒し二回戦へ



本選手権の連載当初から、並々ならぬ参戦への意欲を表していたのは曙町「三上饅節店」の三上丈夫選手。その三上選手の前に立ちまはったのは、錦町の中華料理店「五十番」の厨房で腕をふるう長島勇二選手だ。前傾姿勢の独特なフォームで鮮やかにコマを操る長島選手に、三上選手、試合開始前からやや圧倒され気味。

気持ちは前に出ても「コマを握るのは何十年ぶり」という状況ではトコに乗せるのが精一杯。スピード感・安定感ともに長島ペースで対戦は進み、開始から20分で試合終了。14対0で長島選手の圧倒的勝利となった。最後まで少年時代の勘が戻らなかった三上選手、思わぬ伏兵の登場にさすがにションボリ。



真味百撰 31 フランス料理 シェ・タスケ

曙町1-28-14 / 527-5959
11:30~14:00, 17:30~21:00 / 月曜定休

今や「立川フレンチ」の筆頭格
こだわりの低温スモークで仕込んだ
「自家製生ハム」が白眉



絶品の「自家製生ハム」。コースの前菜に入るが、アラカルトでオーダーできる。900円。



フランス料理「シェ・タスケ」は今年開店19年目。立川のフレンチといえば筆頭にあがる、その存在感は相変わらず大きい。オーナーシェフの岡野多祐さんは十代の頃から料理の道を志向、10年間の下積みに加え、3年間のフランス生活で舌を鍛えた本格派。

このシェ・タスケを名店たらしめている要素のひとつに「自家製生ハム」の存在は欠かせない。仕込みから始まり、香料漬け、乾燥、そして低温で100時間以上かける燻煙(スモーク)まで、すべての工程を店舗2階の工房で、岡野さん自身が手がける。完成まで丸3ヶ月、微妙な条件で品質が変わるため、その間は精神的にも肉体的にも気が抜けないという。絶妙な塩加減と豊かな香りは一度賞味の価値あり。文字通り、岡野さんの丹精の逸品だ。

四季にあわせて書き換えられるメニューはコースが主体。今秋のお勧めディナーは自家製生ハムを前菜に「秋茄子にオマール海老と帆立詰プロバンス風」、「黒毛和牛と鴨の燻製キノコ添え」がメインのコース(8,000円)。ランチは2,500円からのコースが設けられている。また、シェ・タスケの食器を手がける陶芸家たちの作陶展を店内で催すなど、ユニークな企画も充実している。

ゴロさんの独断毒語

④

路上音楽家

仕事を了えて立川の北口の階段を昇ってゆくと、ギターを抱えた若者が、なにやら音楽のよなものを怒鳴りながら歌っている光景をよく見かけます。いわゆるストリート・ミュージシャンとでもいうのでしょうか。

音楽家の前にはギターボックスが開かれて置いてあって、そこに「投げ銭」をしてもらうのが目的なのでしょう。サクラとかどうかかわりませんが、時に千円札とか百円玉が転がってあります。私は運がわるいのか、実際に投げ銭をしているのを見たことがありません。

時どき、ビールの空缶が横に置いてあるところを見ると、彼らは飲みながらギターを掻き鳴らしているのでしょう。そういう「不真面目」な音楽家に投げ銭をする人はまずいないでしょう。———もっと、真面目にやりなさい!と云ってやりたくなる。

かと云って、私は彼らを無視しているわけではないのです。むしろ関心大です。と申しますのも私は十年ほど前、有楽町の駅構内に立つて詩集「ん」を売っていたことがあるからです。首から看板をぶらさげて一時間、ひと中に立っているというのは随分と疲れるものです。それ

が二時間、三時間ともなれば、もう疲労困憊です。でも、私は途中でビールを飲むような「不真面目」なことは致しませんでした。お客さまの前で、酒類を飲むことは不謹慎だという一種の倫理観があったのでしょうか。

一冊百円の詩集が売れた時の喜びはひとしおで、ストリート・ミュージシャンにも共通する感覚はあるのではないのでしょうか。幾許かの共感を覚えるのは、その故かと思えます。

ある夜、仕事を了えて立川駅に向かうと、コ



イラスト 巖 幸子

ンコースの北側にギタリストが演奏してありました。彼もまたストリート・ミュージシャンの一人なのでしょう。が、スーツをビシッと決めて、堂々たる態度でクラシック・ギターを弾いておりました。誰かに書いてもらったのでしょうか。———私のコンサートにお越しくださいます。有難うございます。という看板が出ておられます。顔つきから見るとアングロサクソン系。私が通りかかった時には悠然と「スペイン交響曲」の一部を弾いておりました。彼もまた、ストリート・ミュージシャンの自負に満ちておりました。ガチャガチャとギターを掻き鳴らしている若者と、何と違うものでありましようか。

また私はある時、新宿の繁華街で、四人でピートルズの曲ばかり弾いているグループに出会ったことがあります。力演です。黒山の人に囲まれておりました。路上で、こういうことをするのは禁じられているのでしょうか。巡査が止めようとして中へ入ろうとすると、聴衆がその巡査を押し退けて中に入れないのです。

ストリート・ミュージシャンにも「格」というものがあるのでしょうか。

(やまだこうろう・詩人)

天衣無縫

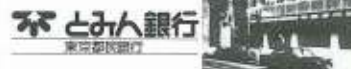
わざとらしい振る舞いのないこと。「天真爛漫」と同意的に用いられることが多いが、本来は文章や詩歌が自然に表現されて、小手先の技巧がなく、美しい格調を備えているさまをいう。



立川に育てられて六十三年
真如苑
曙町1-2-13 Tel. 527-0111(FD)

首都圏に広がる とみん銀行

暮らしに、事業に
お役に立つよう
努力しています。



デジタルえほん

お子さまが主役の
絵本です!

お子さまのカラー写真と名前を
載せて完成する絵本です。
2か所に写真と名前が入ります。

ディスプレイシリーズも
10月中旬発売予定です。
PLANNING・DESIGN・PROCESS・PRINTING
火度社
042-527-1911
〒190-0022 東京都立川市曙町5-17-13
FAX. 527-1949
E-mail: JDO5215@nifty.ne.jp

町田駅近くの商店街に立つ、とあるビルの一階には司法試験の予備校が入っています。そこに集う若者たちへのメッセージを込めたモニユメントです。

コロンブスの卵とは、即ち「発想の転換」。凝り固まった考えに陥らず、大きな志をもつ

て夢に向かう。遠くを見つめるコロンブスの眼差しに、若者の姿を重ね合わせました。

この界限は多くの店が密集し、ちよつと雑多な印象がありますが、この像が立つ一角だけはポカんと広場のようになっています。この「抜けた」感覚というものも、街の大切な要素だと思います。(1996年・赤川政由)



赤川作品

十二撰 4

「コロンブスとたまご」

東京都町田市